



Edcamp tane
in Shinshu

信州で若者だけの Edcampをつくりたい

～最終成果発表会～

田玉 千彩希 高津 慎太郎 船崎 佑真



Edcamp tane
in Shinshu

概要

「教育」という同じテーマに関心がある人達が集い
気軽に話し合い、交流する

アンカンファレンスという手法を用いて
参加者にその場でテーマを考えてもらう



Edcamp tane
in Shinshu

コンセプト

「問い」はたくさんあるのに

だからこそ

「正解」がないのは

じぶんなりの じぶんだけの

教育

小さな気づきを 集めてほしい

これから「教育」を考える 大学生と

いま「教育」を考えている 先生とが

まざって話して 考えて

小さい小さい種を みつけてほしい

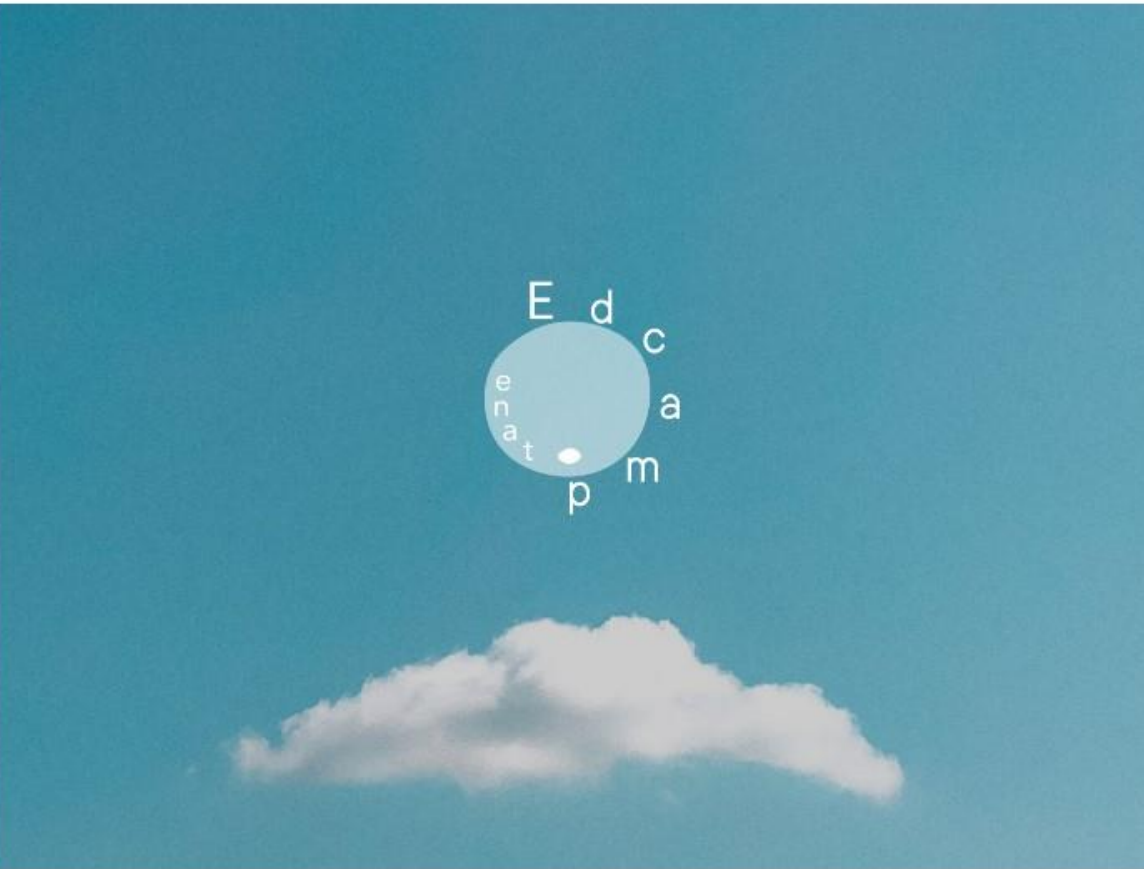
1年の流れ



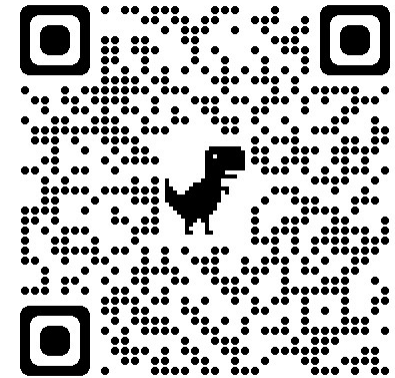


Edcamp tane
in Shinshu

活動報告



開催のお知らせなどの
ためにHP、動画も
作成しました



[Edcamp tane \(studio.site\)](https://studio.site)



「問い」はたくさんあるのに



Edcamp tane
shinshu

BOOKS
「教育と本」

「問い」はたくさんあるのに
「正解」がないのが教育
だからこそ じぶんなりの じぶんだけの
小さな 気づきを 集めてほしい
これから「教育」を考える 大学生と
いま「教育」を考えている 先生とが
まざって 話して 考えて
小さい小さい種を みつけてほしい



参加者

計20名
うち学生8名

9/23 (土) 10:00 ▶ 16:30
(9:45 受付)

会場 県立長野図書館 3階 信州・学び創造ラボ

対象 教育に関心のある人なら誰でも (参加費無料)

定員 30名 (定員に達し次第締め切ります)

持ち物 あなたの好きな本を1冊・昼食

申し込み 下記ホームページまたはQRコードよりお申し込みください。

Edcamp tane ホームページ <https://edcamp-tane.studio.site/>



代表 信州大学教育学部現代教育コース2年生 田玉 千彩希

顧問 信州大学学術研究院教育学系 高柳 充利 准教授

信州大学学術研究院総合人間科学系 有路 憲一 准教授

このイベントはEducational Challenge (主催: 信州大学教育学部 協力: 公益社団法人信濃教育会) の支援を受けています。



参加者の声

「今は教育においても大事な変わり目だということが印象に残った」

「図書館教育や読書に対するイメージを共有できた」

「現職の先生方から体験談を多く聞いた」

広報活動の不足

テーマを設定することの検討

参加者との連絡について

課題



Edcamp tane

in Shinshu

「問い」はたくさんあるのに

「正解」がないのが教育

だからこそ じぶんなりの じぶんだけの

小さな気づきを集めてほしい

これから「教育」を考える大学生と

いま「教育」を考えている先生とが

まざって 話して 考えて


小さい 小さい種を みつけてほしい

2023.12.17

参加者

計10名
うち学生6名

12/17(日) 10:00 ▶ 16:00 (開場: 9:45)

 会場 松本市立博物館 1階交流学习室

※ 博物館には駐車場はありません。お車でお越しの方は、お近くのコインパーキングをご利用ください。

 対象 教育についてお話ししてみたい方 ※ 定員 25名

 申し込み 右のQRコードよりお申し込みください。



代表 信州大学教育学部現代教育コース2年

田玉 千彩希

顧問 信州大学学術研究院教育学系

高柳 充利 准教授

信州大学学術研究院総合人間科学系

有路 憲一 准教授

※ このイベントは Educational Challenge (主催: 信州大学教育学部 協力: 信濃教育会) の支援を受けています。

第3回の課題から改善した点

▶ 広報について

- ▶ 教育学部掲示板にチラシを掲示
- ▶ 学生SNS広報部の方の協力
- ▶ 他大学の学生への広報

▶ テーマ設定について

- ▶ 第3回はテーマを設定せずに開催
話すテーマは多様化した

▶ 参加者との連絡について

- ▶ Edcampのアドレスからメールを送れるように整備



参加者の声

「共通点や関連を見出して話せた」

「教える・教えてもらったりするのではなく、
日頃考えていることを呟くように話せたのが良かった」

「学生、社会人など様々な人と関わるきっかけになった」

時期的にも参加者が少なかった

各テーブルで話したこと、模造紙に
書いたことを共有する時間を作る

会の最後にEdcamp taneに参加して
見つけた種(発見や想い)を共有する機会を設けなかった

課題

全体の成果

- ▶ 学生と教員と社会人の方が交流する機会を作ることができた。
- ▶ 大学の授業ではあまり触れることのない教育テーマについて共有することができた。
ex)給食指導について、子どもの読書について
- ▶ 運営側として、異なる立場の方々とコミュニケーションをとりながら、マネジメントを行う経験を得た。

今後の方針

- ▶ 3月16日に今年度最後の第4回Edcamp tane in Shinshuの開催を予定。
- ▶ 来年度以降も、学生と教員の方が交流する機会を作っていきたい。

ご支援いただいたお金の使用用途

- ▶ ホームページ、ロゴの作成料
- ▶ 第3回、第4回(予定)の会場使用料
- ▶ 模造紙や付箋などの消耗品



Edcamp tane
in Shinshu

ご清聴ありがとうございました！

ご支援のおかげで有意義な活動を行
うことが出来ました。
本当にありがとうございました。